



2023-2024 ガバナー月信
GOVERNOR'S
Monthly Letter



©中山仁史 / K2



地域に希望を育てよう！

国際ロータリー第2510地区 2023-2024年度ガバナー 松浦 光紀

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>



国際ロータリー第2510地区

2023-2024年度地区目標

「地域に希望を育てよう」

- 1. クラブの戦略計画を打ちたて、会員増強を実現しよう
- 2. ポリオデーに参加しよう
- 3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
- 4. オンリーワンチャレンジをみつけよう

- ・ ガバナーメッセージ..... 1p
- ・ ガバナーノミニー決定宣言..... 2p
- ・ IMF Rジャパン大会北海道開催のお知らせ..... 3p
- ・ 第2グループIM報告..... 4p
- ・ 例会場変更のお知らせ..... 5p
- ・ 新会員のご紹介・ガバナー事務所からお願い..... 6p
- ・ 2月財団・米山奨学会寄付..... 7p
- ・ ハイライトよねやま..... 8p
- ・ コーディネーターニュース..... 10p
- ・ 2月会員数報告..... 13p
- ・ 地区カレンダー4・5月..... 14p
- ・ ガバナー事務所だより・編集後記..... 15p
- ・ 表紙の解説..... 16p



ガバナーメッセージ

国際ロータリー2510地区
ガバナー

松浦 光紀

(小樽南 RC)

先月は、インターシティミーティングにおいては9日第2グループ赤平市、16日第3グループ江別市、30日第4グループ、第5グループが合同で札幌市で開催されました。

各IMは、テーマに沿い大変工夫された内容で素晴らしいものでした。

26日には、函館五稜郭すずらん衛星クラブの認可祝賀会に出席させて頂きました。このクラブは、函館五稜郭ロータリークラブを親クラブとして、若い方を中心に組織されました。会長には、過去に函館五稜郭RCを退会された方が経験を活かし参加され、新しいクラブをまとめ上げておりました。若い会員の方を中心としたクラブ運営は、例会日の設定、例会時間の設定など、奉仕活動等新しい視点で、会員の行動に合わせた設定になっていました。衛星クラブ設立は、ロータリーの多様性に沿った組織であると感じました。

次年度出村ガバナー年度の活動が始まりました。23日、24日は、会長エレクト研修セミナー（PETS）と地区研修・協議会が開催され、ロータリー財団セミナー、米山セミナーも開催されました。次年度は、地区の委員会活動を見直し、改善され、地区委員会活動等に関し、新しい観点からの取り組みがスタートとされました。

私の年度も後3ヶ月となりました。皆様のご支援に感謝申し上げます。

ガバナーノミニー決定宣言

2026-2027年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より古野重幸君（札幌RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第12条第2節 [12.020. ガバナー選出手続] に基づき、古野重幸君を2026-2027年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第2510地区
2023-2024年度ガバナー 松浦光紀
(小樽南RC)

【2026-2027年度ガバナーノミニー】

会員名：古野重幸（ふるのしげゆき）（札幌ロータリークラブ）
生年月日：1958年3月16日生まれ
職業分類：建築設備
フルテック（株） 代表取締役社長



【ロータリー歴】

・クラブ

1999年4月入会
2009～10年度 クラブ幹事
2018～19年度 クラブ会長

・地区

2002～05年度 地区インターアクト委員
2010～11年度 地区GSE委員
2011～12年度 地区職業研修委員
2012～13年度 地区職業研修副委員長
2013～14年度 地区職業研修チーム副委員長
2022～23年度 ガバナー補佐（第4グループ担当）

1974～75年度 ロータリー青少年交換学生
（オーストラリア・ROBINVALE RC）

その他

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（3回目）
ポール・ハリス・ソサエティ
米山功労者マルチプル（3回目）



IFMR MEETING

International Fellowship of Motorcycling Rotarians

JAPAN CHAPTER

JULY 2024

in HOKKAIDO

2024年7月27日(土)



IFMR ジャパン大会 北海道開催

2024年7月27日(土)に開催されるIFMR ジャパン大会北海道開催は、バイク愛好家のロータリアンが親睦を深める絶好の機会です。美味しい地元の食事を楽しみ、ロータリーの理念に基づく新たな友情を育む場となります。北海道の夏と大自然を満喫しながら、全国から来た仲間たちとの絆を深めましょう。ご参加をお待ちしています。

■開催日時・大会スケジュール

- 2024年7月27日(土曜日) 17:30より
- 例会 17:30より
2024-25年度 RI2500 地区 小谷 典之ガバナーご挨拶
2024-25年度 RI2510 地区 出村 知佳子ガバナーご挨拶
- 親睦活動グループについての卓話
- 18:00より懇親会 アトラクション

■開催場所：旭川トーヨーホテル

北海道旭川市7条通7丁目32-12 TEL0166-22-7575 (代表)
 ※ご宿泊ご希望の方は上記会場ホテルにて部屋数に限りがございますが宿泊可能です。一泊朝食付きシングル 12,800円、朝食無し 11,000円お申し込みはフォームから。
 ※ドレスコードは、カジュアルです。記念Tシャツをおすすめします。
 ※翌日28日(日)に、ツーリングを予定しております。(希望者)
 (ツーリングは、早朝から昼までの予定です。昼食は各自でお願いします。)
 ※レンタルバイクをご利用の方は、各自でご手配ください。

IFMR ジャパン大会 北海道開催 記念Tシャツ発売

S~LL 2,310円(税込) 締切は5月10日です。お早めに!!
 3L~5L 2,475円(税込)

お申し込みは、直接、オクトンさんへメールかFAXでお申し込みください。その場合、サイズや枚数をお伝え下さい。メール：yamazaki@octon.co.jp FAX：0120-916-322

■登録料・登録締切：2024年5月10日

■登録料：ロータリアン 15,000円 パートナー 8,000円
 ※参加資格はロータリアン及びパートナーの方
 ※登録料お振込み期限はフォーム登録後営業日3日以内をお願い致します。

■登録料振込口座：稚内信用金庫 旭川支店 (店番 017) 普通 口座番号 1117989
 IFMR ジャパン大会北海道 幹事 佐藤 友泰 アイエフエムアールジャパンタイカイホ

お申込み方法：
 右記のQRコードからフォームでお申し込みください。



ご不明な点がございましたら以下のメールアドレスへご連絡ください。なおご質問の内容によってはご回答が多少遅れる場合も御座いますのでご容赦ください。
 ifmr.japan@gmail.com 実行幹事 佐藤 友泰 RID2500 旭川西 RC

RI2510 地区
第2グループ
都市連合会
REPORTS

Intercity Meeting 2023-24 年度

テーマ：『ロータリーと若いチ・カ・ラ』
と き：令和6年3月9日（土）
本会議 15:00～17:00
懇親会 17:30～19:30
ところ：赤平市交流センターみらい

今年度の第2グループ都市連合会は赤平ロータリークラブ（以下RC）がホストクラブとなって開催されました。特筆すべきは赤平ローターアクト（以下RAC）と準備からすべてを共同で進めてきたことです。それは赤平RCが、第2Gで唯一アクトを擁しているクラブであること。そのアクトの活動が活発であることなどから、IMのテーマを「ロータリーと若いチ・カ・ラ」に設定したことに表れています。

来賓に松浦ガバナー、富山赤平市長、渡邊バストガバナー（当日、欠席）、宗方次年度ガバナー補佐を招き、ガバナー、市長から挨拶を頂きました。

プログラムのメインは各アクトによる記念発表。東京日本橋RAC・兵庫豊岡RAC・帯広RAC・赤RACがそれぞれのクラブの活動をパワーポイントを使って発表してくれました。富良野RACからもIMでアクトが活動を発表すると聞き、急遽駆けつけてくれました。

それぞれのクラブの活動はその取り組みの多様さや、柔軟な発想によるクラブ運営などが発揮されていることに、松浦ガバナーからも講評において高い評価の言葉をいただきました。アクトの具体的な活動内容が紹介され、参加したロータリアンにとっても分かりやすい内容だったと思います。



松浦ガバナーによる来賓挨拶。注目点は掲揚されている旗です。国旗、ロータリー旗とともに赤平RACの旗が掲揚されています（右端）アクターからの要望があって実現したものです。



東京日本橋RAC 松崎運直前会長による活動内容の発表。スポンサークラブの東京日本橋RCと赤平RCは甲子園で二回対戦したことがあります。

IM本会議は開会の点鐘、国家・ソング斉唱、物故会員への黙祷、主催者挨拶、来賓挨拶とセレモニーが粛々と続き、次年度ガバナー補佐紹介へと進みました。

次年度は芦別RCから宗方裕之会員がガバナー補佐に指名されており戸戸現ガバナー補佐から紹介されました。続いて宗方ガバナー補佐が次年度の4クラブの会長・幹事を紹介し、参加者から盛大な拍手が起こりました。恒例のセレモニーが滞りなく済み、メインプログラムの記念発表「アクト活動の実際」へと移っていきました。



余興に入るといきなりサプライズ。赤平RCの早坂会長と芦別RC多田会長による演奏が始まりました。二人が演奏したのは、グレイ・アームストロングの「what a Wonderful World」



テーブル対抗スポーツ吹き矢。真ん中を射抜いたのは滝川RCの神部さん唯一人！



【 後日談 】

第2グループのIMが終わり、二週間後に山形県山形市で全国ローターアクト研修会（全研）が開催されました。赤平RACから4名が参加しました。

山形は第2800地区にあり、今年度の伊藤ガバナーが開会の挨拶を行いました。その挨拶の中で2510地区第2グループのIMについて触れたくだりがあり以下に記します。

…2019年のRI規定審議会より、ローターアクトの立場における変革が全世界・全国でより具体化されつつあります。各地区、各クラブが方針に沿った活動をしなければなりません。そのような中、良い行動をされているローターアクトを紹介します。

先日、3月9日第2510地区（北海道西部）第2グループ インターミーティングにおいて赤平RACがスポンサーの赤平RCと共同でホストをしたと聞いております。共同で行うクラブの関係性が正にローターアクトの立ち位置を作ります。プログラム内容は赤平RACがとりしきり、2510地区ガバナーを中心に大盛況であったと伺いました。

他地区のガバナー3名からもお褒めの言葉があったとのこと。

例会場変更のお知らせ

札幌モーニングロータリークラブ

会長 内田 芳史

幹事 小川 正人

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当クラブに対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたびセンチュリーロイヤルホテル閉館に伴い、例会場を下記の通り変更する運びとなりました。

ご不便ご面倒をおかけいたしますが、ご周知の程何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、例会日時（水曜日 7：30～）・事務局の変更はございません。

敬具

記

新例会場 メルキュール札幌
〒064-0804
札幌市中央区南4条西2丁目2-4

TEL：011-513-1100

開始日 2024年5月22日（水） 7：30～

新会員のご紹介



千歳 RC
高橋 友美恵
令和6年3月14日
廃棄物収集運搬業



岩見沢 RC
江連 猛行
令和6年4月4日
普通銀行業



室蘭北 RC
高柳 知充
令和6年2月20日
鉄製造業



札幌西北 RC
宇美 繁樹
令和6年4月11日
電力供給業

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようにお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。地区ホームページ⇒クラブ情報⇒例会変更フォーム の順でアクセスできます。(ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい)

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。(メールでのご連絡にご協力ください)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 / FAX(011)207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp 執務時間: 午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

最新ロータリーレートは地区 HP をご覧ください

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西RC 伏木 忠了 会員 (8回) 2月22日
 白老RC 加藤 泰久 会員 (4回) 2月22日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

札幌南RC トーキル・クリステンセン会員 レベルI 1月31日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ポール・ハリス・フェロー

砂川RC	松原 重俊	会員	(5回)	2月26日	札幌南RC	赤地 勇己	会員	2月27日
岩見沢RC	小林 弘明	会員	(6回)	2月16日				
札幌北RC	大館 政弘	会員	(1回)	2月2日				
札幌南RC	山谷 英一	会員	(2回)	2月27日				
伊達RC	大坪 鐵雄	会員	(1回)	2月27日				
伊達RC	守谷 保夫	会員	(3回)	2月27日				
伊達RC	太田 和實	会員	(3回)	2月27日				
函館RC	藤井 方雄	会員	(7回)	2月26日				
森RC	向 宣男	会員	(2回)	2月26日				



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

288

2024年3月13日
発行

1. 世話クラブへ届けた義援金

ネパール出身の米山学友、ギミルハリパラサドさん（2014-15/四街道RC）が2月27日に世話クラブの例会に出席しました。現在は千葉大学法政経学部で講師としてアジアの政治や市民社会について教えながら、同大学のグローバル関係融合研究センターで特任研究員として勤務中。将来は「日本とアジア諸国の懸け橋になれるような研究活動を進めていきたい」と語るハリさん。

今回例会に出席した目的は、義援金を届けるためでした。というのも、母国ネパールで2015年4月に起きた地震により大きな被害が出た際、四街道RCが義援金として160,000円の寄付を行い、当時米山奨学生だったハリさんを通じてネパールへ送金していました。この義援金は現



ハリさん(前列右から4人目)の奨学生時代、例会にて

地で仮設住宅の建設などに役立てられ、実際に仮設住宅に住んでいた人々はとても喜び、支援をしてくれた四街道RCの方々に感謝していたそうです。

その時から約9年後、今回の能登地震の発生を受け、当時

支援を受けたネパール

の方々から「何か力になりたい」との連絡がハリさんに入りました。そして、ネパールから義援金が届き、ハリさん自身の寄付金を加えた170,000円を例会でクラブ会長へ手渡ししました。

例会場は温かい拍手に包まれ、「受け取った義援金は被災地へ届ける」と、会長から力強い言葉を貰ったとのことでした。

2. マレーシア米山学友会 総会開催

3月1日、マレーシア米山学友会の総会がハイブリッド形式で開催され、会場に24人、オンラインで11人、計35人が参加しました。また、海外米山学友会からは、スリランカ米山学友会会長のダシルワプブ

ドゥさん（2007-09/室蘭北RC）、ネパール米山学友会理事のギリラムさん（1998-2000/室蘭RC）がオンラインで参加し、全体を通して和気あいあいとした雰囲気^{シグアアンケン}の総会となりました。

会長の黄建榮さん（1998-2000/室蘭東RC）



は挨拶で「学友会の活動テーマは『教育』である」として、マレーシアと日本の高校生の交流プログラムを企画・運営していることや、小児医療機関への寄付など、重点的に力を入れている活動を紹介。また、マレーシアにあるロータリーク

ラブを訪問し、米山記念奨学金の支援を受けたマレーシアの学生が累計で1,000人を超えることをアピールし、今後学友会との協働を打診するなど、現地のロータリークラブとの連携を模索しているとのことでした。

3. 寄付金速報 — 例年並みの推移 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.1% 特 + 3.2%

2月月末までの寄付金は前年同期と比べて1.8%増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.2%増）、約2,040万円の増加となりました。

今月の寄付金は、直近5年間と同様の平均額で推移しています。皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 「人としての成長を実感」奨学期間を振り返る

卒業シーズンとなる3月、多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出すこととなります。今回は、ベトナム出身のグエンティ ハインさん（2022-24/横浜泉RC）に、米山奨学生として過ごした2年間を振り返っていただきました。

〈ハインさんより〉

米山奨学生に合格した時は、とにかく大喜びしました。待ちに待った合格通知を受け取った瞬間は、今でも覚えています。それまでの努力や挑戦が報われたことを実感すると同時に、その恩返しをしっかりと果たさなければならない、という責任も感じていました。初めてクラブの方々とお会った時は、ただ私を歓迎するだけでなく、将来のためにサポートしたい、という姿勢を強く感じ、心を打たれました。例会のたびにいただいた温かい言葉や応援のメッセージは、異国の地で過ごす私にとって、大きな励みになりました。

世話クラブでの2年間を通じて学んだ人間性、社会貢献に対する価値観や、真のリーダーシップは他者のために尽くすことにある、という考え方は、まだ学生の私にとって、学外での貴重な学びとなりました。多くのアドバイスやご指



ハインさんとカウンセラーの鈴木崇弘氏(右)

導を受け、自分が人として成長できている、という実感を得ることができました。

4月から新たに米山奨学生となる方々にぜひ実践してほしいことは、クラブ会員の皆さんのお名前とお仕事をいち早く覚えることです。そうすれば、いろんなテーマで会話が弾みます。実際に私も名簿をいただき、一生懸命覚えしました。母国について興味を持ってくださるので、母国に関する知識を深めておくことも大切です。

ここでの学びを生かし、今後は日本で、子どもたちの教育支援など、社会の課題解決に貢献することが私の目標です。ぜひ応援してください。お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

現在、第5代よねやま親善大使として選ばれた、個性豊かな米山学友3人が活動中です。活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように活かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら



より良いクラブにしよう



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 黒川 伸一（富山南 RC）

今年1月のオーランドでは、アーチック会長エレクトの「ロータリーのマジック」のテーマと共に、3年間の目標と計画、ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため、4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進、前任者や後任者と協力すること・クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けることを掲げ、単年度制のシステムに継続性を加え、より良いクラブ作りを目指しています。

ロータリーはクラブが基本をさらに充実させることの重要性を出しており、今までのクラブに継続性の課題を数値化して、それぞれの検証を行い続ける事としています。私たちロータリーコーディネーター補佐は、担当の地区に於いてガバナーの地区運営に寄与し、アーチック会長エレクトと一緒にクラブそのものを良くして行きたいと考えます。

私自身、2月には2回目のパキスタン・カラチに行き、現地のポリオワーカーの方々とポリオワクチンの、投与等の活動をさせて頂き、パキスタンのロータリアンの活動や今後の、ポリオ根絶への方向性を見させて頂きました。その中に、ロータリー財団の7つの重点分野にもあります「水と衛生」に関して、現地での飲料水に対する支援の必要性を、今年の活動で感じていました。給水車で飲料水の配給は、時間と配給量が限られ、今年1月発災した能登地震での長期に渡る水道水の断水で、どれだけの方々が苦労されたかが、身近で実感致しました。パキスタンの方々は、その状態を毎日の状態で、ポリオもポリオワーカーの方々のワクチン投与だけで、よく減少していると感心します。2026年にはポリオ根絶を目指しますが、その継続性を保つには「水と衛生」に関しての継続的支援も、ロータリーとして継続課題だと考えます。また、これらの実現が、本来のポリオ根絶になるとも思いますので、これからも一人のロータリアンとして活動を続けていきますので、よろしくお願いいたします。

「アクションプランの推進」と「3年間の目標」について



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑澤 一郎（茅野 RC）

次年度の話で恐縮ですが、ステファニー・アーチック会長エレクトは、会長イニシアティブの一つに「クラブにおけるアクションプランの推進」を掲げており、新たに各ゾーンに「アクションプランチャンピオン（行動計画推進者）」なる役を設け、地区やクラブへのアクションプランの浸透を押し進めようとしています。

一方で、RI 理事会により「3-year rolling targets(3年間の目標)」のパイロット実施が決議され、各 RI 理事を通して各地区、クラブに伝達がおこなわれています。

アクションプランと3年間の目標は、実は密接に結びついております。つまり、3年間の目標の入力はマイロータリーの「クラブセントラル」からおこないます（現在は1年のみ=RIにより改変中）が、その目標の項目はアクションプランの4つの優先事項、つまり「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」に分類され、それぞれに目標項目が掲げられておりますので、目標設定の前にアクションプランというロータリーの活動方針の理解が必要となります。もちろん、単に具体的な目標項目に目標数字や奉仕活動目標を入力することはできますが、私たちが何を目的としてこれらを達成しようとしているかを理解していなければ、数字や奉仕活動が一人歩きしてしまい、それは時にロータリーの目指すものと一致しない場合が出てきてしまう可能性があります。

私たちが目指すもの、これはビジョン声明として掲げられた「私たちは世界で地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」であります。この大きな目標に向かって進むための方法論として様々な取り組みに加え、今回のアクションプラン推進と3年間の目標があります。この流れを理解して進めることが重要です。

アクションプランと3年間の目標については、昨年より設置された JAPAN ROTARY ポータルサイトに詳しい情報を掲載しています。ぜひこちらをご覧くださいの上、クラブに紹介してご活用いただけますようお願いいたします。

<https://www.japanrotary.club>



スマホからはこちら



The screenshot shows the homepage of the Japan Rotary Portal Site. At the top, there is a navigation bar with links for HOME, R123-24, R124-25, 3年間の目標, アクションプラン, Grow Rotary, D.E.I., PolioDayJapan, and 関連リンク. The main header features the text 'JAPAN ROTARY Portal Site' and 'Rotary ZONE 1A, 2&3' with the Rotary logo. Below this is a photo of several people. The URL 'www.japanrotary.club' is displayed. A large heading reads 'Japan Rotary Portal site へようこそ！'. Below this, there is a paragraph in Japanese: '地区やクラブへのスムーズな情報提供、情報共有をよりスムーズに、密にしていけるよう JapanRotary(RI zone 1a,2,3)のポータルサイトを作成しました。重要事項をわかりやすく掲載してあります。MyRotaryに加え、是非こちらでもご活用いただけますようお願いいたします。' There is a QR code on the right side of this section. At the bottom, there are four buttons: 'R124-25活動方針', '3年間の目標 (3-Year Rolling Targets)', 'アクションプラン (行動方針)', and '会員増強 (GrowRotary)'.

重点分野における環境について



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 籠橋 美久（名古屋中 RC）

皆様、日頃ロータリー財団の活動にご尽力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今回は、重点分野に2021年から加わりました『環境』について少し述べさせていただきます。昨今、地震や津波等の自然災害のみならず地球温暖化に伴う異常気象も深刻となり、経済や社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼしています。こうした状況は、私たちの毎日の生活にも大きな影響を及ぼしています。

昨年から世界中で起きている異常気象が穀物の価格を押し上げ、私たちの家計に大きな影響を与えています。これも地球温暖化が進行しつつあることを如実に表しているものであります。

これらは、我々の目に留まる事象の一部であります。地球環境は、日に日に悪化の一途をたどっております。我々の生活が快適になればなるほど、現在の地球のどこかで環境破壊が進んでいるということ私たちは強く認識しなければなりません。

日本は、海に囲まれ、多くの海産物に恵まれています。一方で私たちがマグロやウナギの漁獲量を増加させたことは、種の絶滅の危険性を高め、海の生態系にも大きな影響を与えてきたことを忘れてはなりません。特に、私たちが海に放出している海洋マイクロプラスチックは、大きな問題として、昨今報道されています。海洋マイクロプラスチックは海を漂流し続けているそうです。日本においても、地球環境問題は決して他人ごとではなく、喫緊に取り組むべき問題と位置づけるべきであり、ロータリーとしても真剣に活動しなければならないと思います。

まずは、私たち自身が快適な生活を求めるあまり、地球上のどこかの自然を破壊しているという事実を認識するところから始めましょう。以下、環境保護を進めるためのきっかけとして、いくつか重点的なポイントを提案させていただきます。皆様の参考にして頂ければ幸いです。

・地球環境の保全

脱炭素化の推進、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換

マイクロプラスチックの流出抑制

・自然との共生

カーボンニュートラルの推進、森林破壊の抑制、里山の再生計画、生物多様性の保全

・廃棄物の適正処理

ビン、プラスチック、紙等のリサイクルの推進、ごみの排出抑制・適正処理

こうした問題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、どれも私たちの生活に大きな影響を与える事柄です。化石燃料の使用の抑制を考える。また不要なプラスチックの使用を控えるということも、比較的すぐに始められることかと思えます。地球環境の保護という大きな目標に向かって、まずは小さなステップから始めようではありませんか。それぞれのロータリー会員の小さな一歩が、地球全体での大きな一歩となるはずですよ。

なお、この環境分野における補助金の運用は、グローバル補助金を活用することが可能でございます。従来のグローバル補助金の使途方法は、援助国(先進国)から拠出され、支援国(後進国)へ主流でありましたが、環境分野が加わることにより、先進国にも適用する機会が増えて参りました。わが国においてもグローバル補助金の活用に向けた計画をされてみてはいかがでしょうか？

今後のロータリーの奉仕活動において、上述のことを参考にして頂き、草の根の活動をさらに推進していただきたいと思えます。環境の保護を重点的に取り入れつつ、ロータリー会員の皆様がさらに充実した活動を展開されることを祈念しております。

2月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2023.7.1	2024.2.29	増減	内女性
1	深川	3	30	29	-1	2
	羽幌	2	34	31	-3	1
	留萌	2	25	25	0	3
	小計		89	85	-4	6
2	赤平	2	19	20	1	2
	芦別	2	26	26	0	1
	砂川	3	39	38	-1	2
	滝川	4	85	82	-3	6
	小計		169	166	-3	11
3	美唄	3	19	21	2	1
	江別	5	34	36	2	1
	江別西	3	34	33	-1	3
	岩見沢	4	87	94	7	1
	岩見沢東	2	12	12	0	1
	栗沢	2	16	15	-1	0
	栗山	3	24	24	0	4
	当別	2	26	26	0	2
小計		252	261	9	13	
4	札幌幌	2	119	127	8	3
	札幌はまなす	2	18	19	1	2
	札幌北	2	37	35	-2	6
	札幌モーニング	2	36	38	2	0
	札幌西	3	47	45	-2	7
	札幌西北	3	38	37	-1	7
	札幌手稲	2	34	34	0	4
小計		329	335	6	29	
5	札幌東	3	109	109	0	2
	札幌清田	2	11	11	0	3
	札幌幌南	2	59	60	1	4
	札幌真駒内	2	21	21	0	6
	札幌南	2	82	81	-1	5
	札幌大通公園	2	12	13	1	3
	札幌ライラック	2	10	11	1	1
	新札幌	2	25	25	0	6
小計		329	331	2	30	
6	岩内	3	24	25	1	1
	倶知安	2	32	34	2	4
	小樽	4	74	75	1	5
	小樽南	4	52	50	-2	3
	小樽銭函	3	11	13	2	1
	蘭越	2	9	9	0	0
	余市	4	38	39	1	3
小計		240	245	5	17	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数16名(内女性会員0名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数10名(内女性会員4名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すざらんロータリー衛星クラブの会員数8名(内女性会員0名)を含む

クラブ数	69
期首会員数	2,361人
当月末会員数(女性)	2,401人(191人)
増加会員数	40人

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2023.7.1	2024.2.29	増減	内女性
7	千歳	3	74	74	0	11
	千歳セントラル	2	44	43	-1	10
	恵庭	3	45	46	1	4
	北広島	2	15	17	2	2
	長沼	2	15	15	0	3
	由仁	2	7	6	-1	0
	小計		200	201	1	30
8	えりも	2	16	17	1	1
	三石	3	11	10	-1	0
	様似	3	12	12	0	2
	静内	2	59	59	0	5
	浦河	2	16	21	5	2
	小計		114	119	5	10
9	伊達	3	59	58	-1	2
	室蘭	3	29	32	3	2
	室蘭東	2	26	29	3	2
	室蘭北	3	49	50	1	2
	登別	4	25	25	0	2
	洞爺湖	2	10	12	2	1
小計		198	206	8	11	
10	函館	3	63	72	9	3
	函館亀田	3	30	32	2	3
	森	2	35	34	-1	1
	七飯	4	14	14	0	0
	長万部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	22	23	1	2
小計		173	184	11	9	
11	江差	2	9	10	1	0
	函館五稜郭	4	56	56	0	1
	函館東	2	35	36	1	7
	函館北	0	11	9	-2	1
	北斗	5	11	12	1	0
小計		122	123	1	9	
12	白老	2	29	27	-2	3
	苫小牧	3	59	59	0	3
	苫小牧東	4	32	33	1	8
	苫小牧北	3	26	26	0	2
小計		146	145	-1	16	
合計		2,361	2,401	40	191	

地区カレンダー4・5月

4月 母子の健康月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	新会員合宿セミナー(朝里クラッセホテル)～7日 米山奨学生歓迎会 新カウンセラーオリエンテーション 第10・11グループIM(函館)
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	第6グループIM(小樽)
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	RLIファシリテーター修了式
21 (日)	地区職業奉仕研修会
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	昭和の日
30 (火)	

5月 青少年奉仕月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	憲法記念日
4 (土)	みどりの日
5 (日)	子どもの日
6 (月)	振替休日
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	札幌真駒内RC創立50周年記念式典
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	岩見沢RC創立70周年記念式典
19 (日)	RLIセミナー卒後コース
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	国際大会(シンガポール)～29日
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	RYLAセミナー(小樽)～6月2日

ガバナー事務局だより

3月も終わり松浦ガバナー事務所スタッフとしての任期も3ヶ月を切りました。3月26日に松浦ガバナーに随行して函館五稜郭すずらん衛星クラブ認可祝賀会に出席させていただきました。札幌南RC、岩見沢RC、札幌西北RCに続き地区4番目の衛星クラブの誕生です。定年退職されクラブを退会された元会員を議長（会長役）になっていただき、本クラブから2名移籍しての誕生だった様です。ローターアクトクラブを含め新たな若い会員向けの増強の手段として使えるなとは思ったのですが、当然生みの苦しみはハンパなかった様です。

4月6日、7日に小樽市朝里川温泉の朝里クラッセホテルで行われた地区研修委員会主催新会員宿泊研修は、大いに盛り上がったと西方委員長からお聞き致しました。当初は参加人数がなかなか集まらず、新会員研修小委員会のメンバーには大変ご苦勞おかけ致しました。手弁当で頑張っていた地区委員の皆様には感謝申し上げます。

私事ですが、前述函館から帰樽後滑って足首を骨折してしまいました。まったく雪の無かった函館から、まだ雪の残る小樽に帰って来たからというわけではございませんが、まったくの自身の不注意でした。現在入院中です。来月ガバナー事務局だよりは、退院して元気な形で書きたいと思います。

地区代表幹事 齋藤 仁

編集後記

北海道では、やっと春の息吹で色づき始める季節となりました。ロータリークラブの皆様におかれましては、新しい春をいかがお過ごしでしょうか。温かな日差しが増えるにつれ第2510地区の活動も活気が満ちてきたように感じております。

私たちが支援する奨学生たちにとっても、この時期は大きな節目となっています。卒業や就職を迎え、新たな生活への期待と不安を胸に、それぞれの未来へと歩みを進めています。私たちロータリークラブがこれまで彼らに提供してきた支援が、これからの人生にどのような影響を与えるのか、その報告が楽しみでなりません。彼らが社会のさまざまな場で活躍する姿を見ることができるのは、私たちにとって大きな喜びです。

今年度も残り数ヶ月となりましたが、引き続き月信発行へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ガバナー月信委員会 中山 仁史

表紙の解説

小樽港第3号埠頭に停泊するクルーズ船 ウエステルダム号

この春、小樽駅の真正面、第3号埠頭に初めて大型クルーズ船が停泊しました。2023年にクルーズ船ターミナルが完工し、本年3月には国際インフォメーションセンターがオープンしました。大型クルーズ船対応岸壁の工事をしたことで第3号埠頭に受け入れが可能となり、今年には29隻のクルーズ船が寄港する予定となっています。整備されて綺麗になった小樽港第3号埠頭は、新たな賑わいのエリアとして注目されています。



写真:© 中山 仁史 /K2.

